

- 対象地域
広島県山県郡北広島町
(西中国山地国定公園)
- 設立日: H16.11.7
- 構成員数: 31人
- 全体構想作成日: H18.3.31
- 実施計画作成日: H18.10.30
(R2.3月現在)

やわたしつげんしぜんさいせいきょうぎかい

八幡湿原自然再生協議会

再生 目標

「命の環 つなげる」をキャッチフレーズに、牧草地造成前の昭和30年代前半頃の湿原生態系を再生する。

本地域は、広島県の北西部に位置し、1,000m級の山に囲まれた標高800mの盆地です。また、ヌマガヤーマザミ群集に代表される中間湿原が点在し、自生のものとしては貴重なカキツバタが生育しています。

しかし、牧場化に伴う排水施設や道路の整備が原因と思われる湿原の乾燥化により、周辺部からアカマツやイヌツゲ等の木本類が侵入し、希少種の生育環境が悪化しています。このため、自然生態系の保全・再生のための計画を作成、湿原環境の再生に向けた取り組みを進めています。



【事務局】

730-8511
広島市中区基町10-52
広島県自然環境課
野生生物グループ内
電話: 082-513-2933

活動報告

湿地を後世に残し、命の環をつなげたい 【報告者】八幡湿原自然再生協議会 保全・管理部会(写真家) 宗岡泰昭

この霧ヶ谷湿原は私にとって写真家として育てた頂いた特別の場所です。この地に訪れたのは47年前、写真の先輩達に連れられ四季を通じて八幡の自然を楽しんできました。特に写真を始めた初心者達の登竜門といった場所です。地元の人々の生活や、四季の移ろい、自然が豊富で別世界と言ったところでしょう。

この八幡湿原自然再生協議会設立当初から参加して、この地でお世話になったことで一つもお役に立ちたいと思い活動をしています。

昔は牧場の跡地で道路も砂利道でした、車がやっと通れるぐらいの道で開けた風景でした。春夏秋冬いろんな風景を見せてくれます。冬の八幡は雪が多く茅葺きの民家に雪が積もった風景は綺麗でした。冬でも子供たちが外に出て雪の中で遊んでいたのが目に浮かびます、今は少子化であまり子供の姿が見えないのが残念です。

写真活動は私の写真クラブの人たちを案内し、花、昆虫、風景写真を楽しんでます。その中でマナーを守り何時までも楽しめる場所にしたいと思い、ボランティア活動に皆さんで参加して、八幡湿原を守っていきたくと考えています。全国の人気ある湿原は景観がよく何度でも行ってみたいと思うような湿原です。

この霧ヶ谷湿原も全国に負けたくないような人気ある湿原にしたいと目標にしています。私たちが高齢化になりボランティア活動いつまで参加できるかと思うが体が動くまで関わって行きます。

当初の目標である湿原を後世に残し、命の環をつなげたいと願います。

